

for Mind

Mindのフィッティング画面

- 標準フィット** : 従来のシリーズと同様、標準的なフィッティング手順です。
- クイックフィット** : 基本的な初期設定と主な微調整を短時間で行うフィッティング手順で、Mindのみ使用可能です。「クイックフィット」を使用する場合は、「マインドクイックガイド2」をご参照下さい。

顧客

- 履歴** : お客様の難聴および補聴器の履歴についての情報を入力します。
- フィッティングの目標** : フィッティングの前にお客様と話し合い、フィッティングの目標を入力します。

選択

補聴器の器種を直接選ぶことができます。

フィッティング(初期設定)

フィッティング状況が表示されます。

- 計算条件** : 補聴器の初期設定に使用する条件を確認・変更することができます。
- センソグラム** : 補聴器から測定音を呈示し、お客様の最小可聴閾値を測定します。
- フィードバックテスト** : 補聴器を装着した状態で、ハウリングしないゲインの限界を確認します。

フィチュアニング微調整

ゲインや機能の設定を行います。

- サウンドダイアリー** : お客様が補聴器を装着した環境を記録してデータを分析しますので、カウンセリングや微調整の際に効果的です。
- 調整の記録** : ユーザーの設定状態で特性を測定する場合に使用します。(テストモード2)

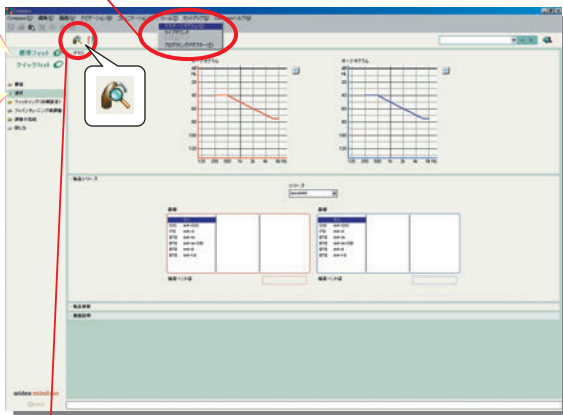
調整の完結

- 補聴器の構成** : お客様のニーズに合わせて、プログラムを切り替えた時のお知らせ音、バッテリーアラームの音などを変更することができます。
- ★ **リモコンマッチング** : リモコンを使うための設定をします(リモコン対応の器種のみ)。
- 説明ツール** : お客様に補聴器とリモコンの操作方法を説明する際に使用します。
- 質問用紙** : フィッティング前に設定した質問用紙の目標が達成されたかをお客様と話し合います。

閉じる

★リモコンの設定については「マインドクイックガイド 3」をご参照下さい。

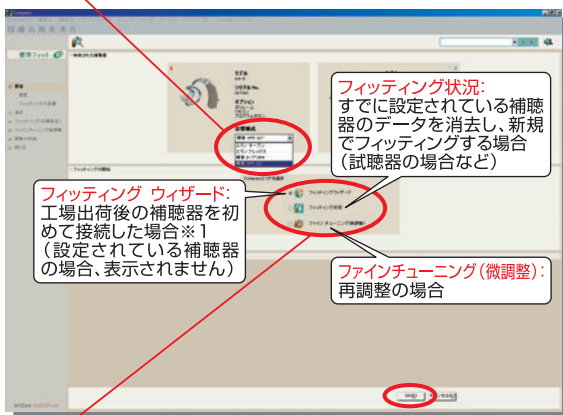
1 Compass Demoの場合は、「ツール」からデモオーディオグラムを選択し、オーディオグラムを入力する。NOAHを使用する場合は、NOAHにオーディオグラムを入力する。



2 補聴器を左右正しく接続し、「検索」のアイコンをクリックする。



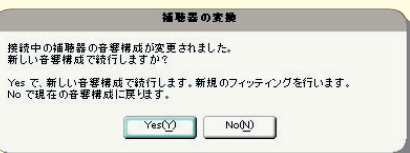
3 ユーザーが使用する音響構成のタイプを選択する(-9、-mモデルのみ)。



4 チェックを入れ、「OK」をクリックする。

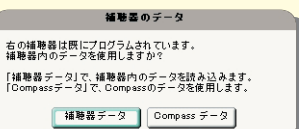
※1 フィッティング手順に沿って画面が進むため、本マニュアルの手順と一部異なります。

！音響構成を変更した場合は...



確認のメッセージが表示されます。「Yes」をクリックすると変換が開始され、補聴器に入っているデータは初期化されます。

！読み込みの途中でこのメッセージが表示されたら...



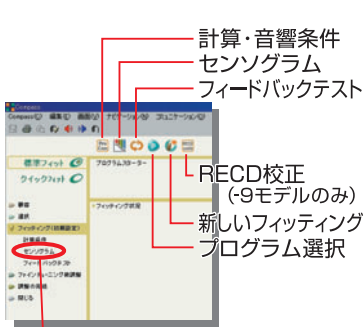
再調整の場合は「補聴器データ」、最初から調整し直す場合は「Compassデータ」をクリックする。

<NOAHの場合>
補聴器からデータを読み込む場合は「補聴器データ」、NOAHに保存されている調整を補聴器に上書きする場合は、「Compassデータ」をクリックする。

！補聴器を読み込めない場合は...

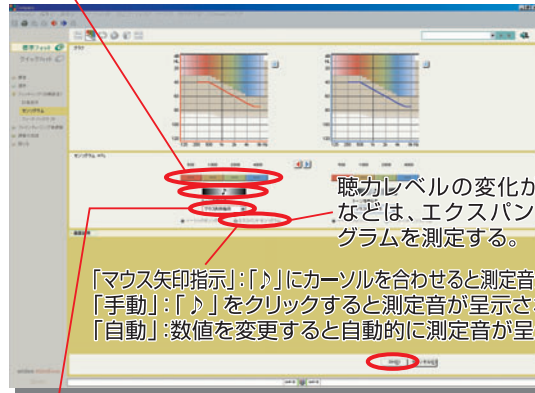
次の内容を確認して下さい。

- ・補聴器に消耗していない電池が入っていますか？ (-9、-19モデルのみ)
- ・補聴器の電源がオンになっていますか？ (-9、-19モデルのみ)
- ・アダプターを交換してみましたか？
- ・プログラミングケーブルを交換してみましたか？

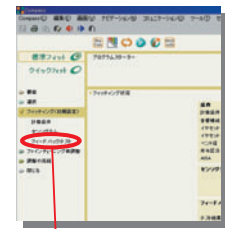


5 「センソグラム」をクリックする。

6 測定する周波数の欄をクリックした後、上下の矢印キーで音のレベルを合わせる
(各周波数の気導閾値+10からスタート)

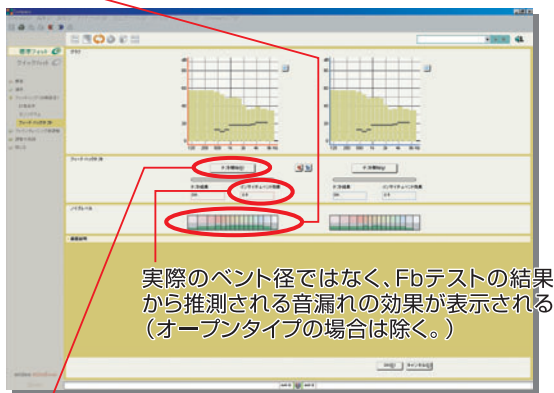


7 カーソルを「♪」に合わせ、最小可聴閾値を測定する(1000⇒2000⇒4000⇒500Hzの順番で測定)。「OK」をクリックする。



8 「フィードバックテスト」をクリックする。

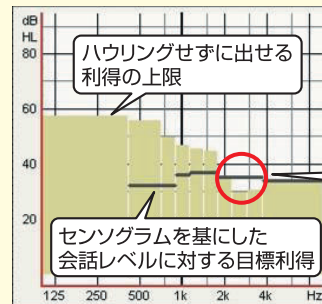
9 全てグリーンになっているか確認する。



10 「テスト開始」をクリックし、Fbテストを行う。終了後、「テスト結果」が「OK」であることを確認する。「OKでない」の場合は、再度Fbテストを実行する。「OK」をクリックする。

Fbテストで「OKでない」が出た場合は…

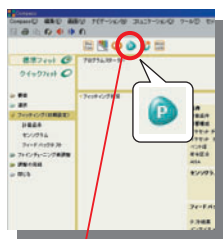
シェル・イヤモールドのゆるみなどで音漏れでハウリングしやすくなっているか、テスト中に周囲のノイズが入ってしまったことが考えられます。補聴器を装着し直してから、静かな場所で再度Fbテストを実行し、グラフを確認して下さい。ただし、お客様の聴力がその器種のフィッティングレンジの上限に近い場合は、「OK」が出にくくなる場合があります。



ハウリングせずに出せる利得の上限

センソグラムを基にした会話レベルに対する目標利得

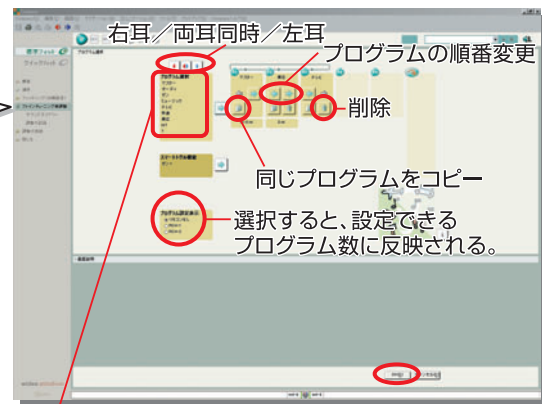
棒グラフが黒いバーを少しでも下回ると、「OKでない」となります。特に聴力がフィッティングレンジの上限に近い場合は、「OKでない」であっても、棒グラフと黒いバーがほぼ同じであれば、実用上問題ありません。



11 プログラムを設定する場合は、クリックする(微調整画面からの設定も可能です)。

■設定できるプログラム最大数

	RC4-1	RC4-2	本体プログラムボタン (-X,-9,-19モデル)
mind440	3	5+ゼン+	5+ゼン+
mind330	3	4	4
mind220	3	3	3



12 プログラムを選択して「⇒」をクリックすると、プログラムが追加される。「OK」をクリックする。ゼンプログラム、スマートグル機能については、「マインドクイックガイド4」をご参照下さい。

マスター:
多くの環境で可聴性・明瞭性・快適性を最適化するよう、適応型機能がすべて動作します。

オーディー:
周波数変換により高音域の可聴性を提供しますので、高音域の聴力がほとんど残っていない方に適しています。

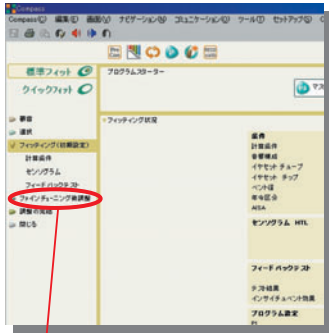
ゼン:(Mind440のみ)
リラクゼーションを目的とし、気持ちを落ち着かせる音楽や鐘の音が再生されます。

ミュージック:
ライブ、ステレオ、サラウンドシステムなどで音楽を聴く際に、適しています。

テレビ:
テレビを見る場合に適しています。

快適:
静かな場所や騒がしい場所で、快適に聴くためのプログラムです。

順応:
初めて補聴器を装着する方が慣れるまでの間使用する場合などに適しています。



13 「ファインチューニング微調整」をクリックする。

14 音の大きさや音質の各種微調整を行う。

IGラウド

- ・かなり大きな音
- ・衝撃音の聞こえ
- ・自分の声(低域)

IGノーマル

- ・会話レベルの音
- ・少し大きめの音
- ・テレビの音

IGソフト

- ・小さな音の聞こえ方
- ・静かな場所での物音
- ・遠くの音の聞こえ方

低域 ← → 高域

ラウドネスマスター

全体的な音のレベルを調整

大きな音(ラウド)

大きな音の低域～高域の調整

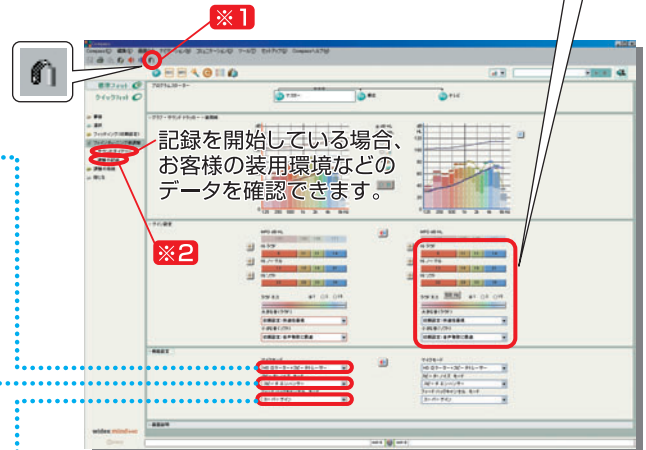
小さな音(ソフト)

小さな音の低域～高域の調整

■基本的には、各プログラムの初期設定でお使い下さい。

HDロケータ+スピーチトレーサ(マスタープログラム初期値):
 マルチチャンネルのアダプティブな指向性(15、10または5チャンネル)。スピーチトレーサは、音声と騒音を分析し、後方から入ってきた音でも、音声であれば減衰せずに維持します。
HDロケータ指向性(固定):
 指向性機能を説明する時のデモンストレーションなどで使います。
HDロケータ無指向性(ミュージックプログラム初期値):
 音楽を楽しむ時などに使います。

スピーチエンハンサー(マスタープログラム初期値):
 騒音下での聞き取りを最優先します。着用者の聞こえと音声、騒音の状況を分析し、SII(語音明瞭度指数)の計算値で音を最適化します(Mind440のみ)。
オフ(ミュージックプログラム初期値):
 騒音制御は動作しません。
騒音制御 標準(SIS):
 全音域で騒音を抑制します。
騒音制御 弱(SIS):
 全音域で騒音を抑制しますが、抑制が少なめで、抑制された音が全体的に小さすぎると感じた場合に、適しています。
騒音制御 強調(SIS):
 低域の騒音を強く抑制しながら中・高音域のレベルを保ち、言葉の聞き取りを重視します。
騒音制御 快適(快適プログラム初期値):
 騒音下では、言葉の聞き取りよりも快適性を優先するため、非常に静かになります。
 騒音下でうるさく感じる、高い音が気になるなどの場合は「標準(SIS)」を、騒音下で静かになりすぎるなどの場合は「弱(SIS)」をお試しいただくことを、お勧めします。

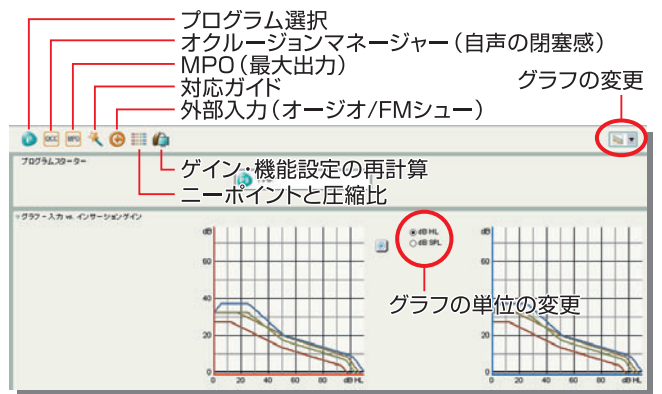


スーパーゲイン(マスタープログラム初期値):
 ハウリングしない範囲でできるだけ高いゲインを確保
スーパーゲイン 最大:
 最大限のゲインを確保します。キャンセリングを強くかけるため、音質が劣化する場合もあります(Mind440のみ)。
スーパーゲイン ミュージック(ミュージックプログラム初期値):
 キャンセリングをかけ始めるまでの時間が長めに設定されます。
オフ: キャンセリングシステム オフ

！特性を測定する場合に…

***1** テストモード1 補聴器の性能を確認するために特性を測定する場合に、使用します。補聴器の設定は、現在の調整内容に関係なく、テスト用の状態になります。

***2** テストモード2 調整内容の記録、耳鼻科医への報告などのため、ユーザーの設定状態で特性を測定する場合に、使用します。



！「標準フィット」でフィッティング中(フィッティング後)の補聴器を「クイックフィット」に変更した場合
 「標準フィット」でのフィッティングデータが消去され、「クイックフィット」での初期設定にリセットされますので、ご注意ください。

15 他のプログラムの音を聞いてもらい、必要に応じて微調整を行う。

順応プログラムのみ

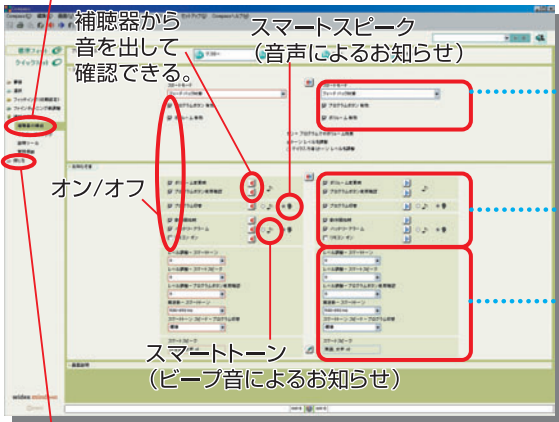
順応・ミュージック・テレビ・快適プログラム共通

マスタープログラムの設定と同じ

順応プログラムの初期設定

通常は、連結(マスターを基にした設定)になっていますが、各プログラムで個別に調整する場合は、「非連結」を選ぶ。

16 「調整の完結」から「補聴器の構成」をクリックし、必要に応じて各項目の設定を変更する。



スタートモード:

補聴器の電源を入れた時のモードを変更できます。
標準:補聴器の電源をオンにした後、補聴器がすぐに起動します。
フィードバック対策 (初期設定):補聴器を装着する際のハウリングを抑えるため、電源をオンにした後、約12秒間音が小さくなっています。

プログラムボタン有効 (初期設定 有効):

チェックを外すと、補聴器本体のプログラムボタン操作を無効にすることができます。

ボリューム有効 (初期設定 有効):

チェックを外すと、補聴器本体のボリュームコントロール操作を無効にすることができます。

ボリューム変更時 (初期設定 オン):

チェックを外すと、ボリュームを変更した時のお知らせ音を無効にすることができます。

プログラムボタン使用確認 (初期設定 オン):

チェックを外すと、プログラムボタンを押した時のクリック音を無効にすることができます。

プログラム切替 (初期設定 オン スマートスピーク (音声)):

プログラムを変更した時のお知らせ音

動作開始時 (初期設定 オン スマートスピーク (音声)):

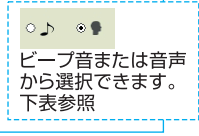
補聴器の電源を入れた時のお知らせ音

バッテリーアラーム (初期設定 オン スマートスピーク (音声)):

補聴器の電池電圧が低下した時のお知らせ音

リモコンオン (初期設定 オフ スマートスピーク (音声)):

リモコンの電源を入れた時のお知らせ音



17 フィッティングと各設定が終了したら、「閉じる」で終了する。

耳かけ型 (パワータイプ-19モデル)には、お知らせライト (LEDインジケータ) 機能があります。オンにすると、補聴器の電源が入っている間、特定のプログラムを使っている間などに、補聴器のプログラムボタンの上の部分点が点滅します。

レベル調整 スマートトーン (初期設定 0):

スマートトーンのビープ音

レベル調整 スマートスピーク (初期設定 0):

スマートスピークの音声

レベル調整 プログラムボタン使用確認 (初期設定 0):

プログラムボタンを押した時のクリック音

周波数 スマートトーン (初期設定 500-850Hz):

スマートトーン (ビープ音)の周波数を変更できます。

スマートトーン スピード-プログラム切替 (初期設定 標準):

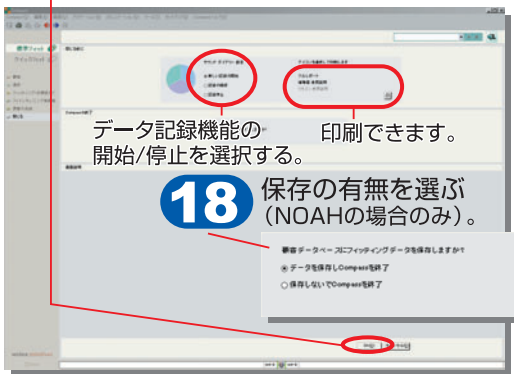
プログラムを変更した時のビープ音の間隔を変更できます。(例: ビップ ビップ/ビップ... ビップ)

スマートスピーク (初期設定 日本語 女声):

アイコンをクリックすると、スマートスピーク (音声)の言語と男声/女声を変更できます。

音の大きさを
変更できます。

19 「OK」をクリックする。



	🎵 スマートトーン	🗣️ スマートスピーク
ボリューム変更時	上げた場合:ビップ(最大になると「ビー」) 下げた場合:ブッ(最小になると「ブー」)	—
プログラムボタン使用確認	コツツ (クリック音)	—
プログラム切替	ピッ/ピッピッ/ピッピッピッ ピーッ/ピーッピッ	プログラム名 (標準/AE/ゼン/ミュージック/テレビ/快適/順応)
動作開始時	ピーン	右 (左) 準備完了
バッテリーアラーム	ビビビビッ	電池低下
リモコン オン	ピーツ	リモコン可能

赤い部分が初期設定です。

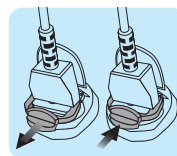
20 補聴器を外し、一度オフにしてからお客様にお渡りする (接続中の補聴器は、ボリューム、プログラムの変更、リモコンとの通信が無効になっています)。

アダプターの接続方法

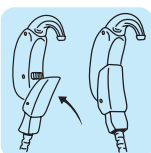
●-9・-19を接続する時は、補聴器に電池を挿入して下さい。



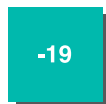
・グレーコードの先に黒コードを接続する。
・アダプターをフェイスプレートに「カチッ」というまで差し込んで固定する。



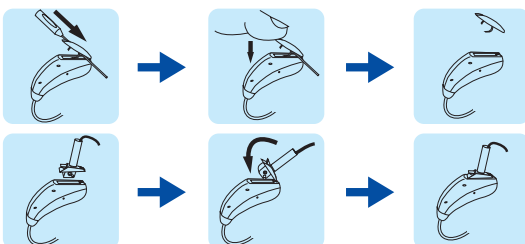
・グレーのつまみを手前に引き、アダプターを補聴器本体に押しつけながら、つまみを押しロックする。
・外す時はつまみを手前に引く。



・アダプターを下側から上方向に押しつけ、「カチッ」というまで差し込んで固定する。



・アダプターを下側からまっすぐ「カチッ」というまで差し込んで固定する。



バッテリーホルダーを開く。ペント用クリーニングツールなど細いものを、バッテリーホルダーの軸部分に差し込む。クリーニングツールを挟んだまま、バッテリーホルダーを閉じるように軽く押し、バッテリーホルダーが外れる。

プログラミングアダプターを、左右2本の軸に45度の角度でしっかり差し込む。「カチッ」というまで、プログラミングアダプターを開いて固定する。